

～ハラスメント防止対策から事後対応までを担うことのできる専門知識を習得～

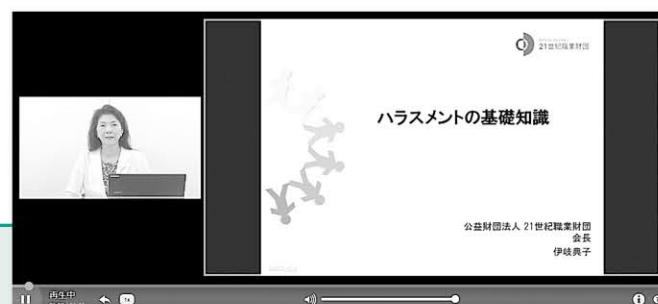
ハラスメント防止コンサルタントを目指す方・現役コンサルタントの方に向けた講座を実施いたしました

<ハラスメント防止コンサルタントの養成>

ハラスメント防止コンサルタント養成講座 実施報告

2020年9月23日(水)～10月23日(金)
オンデマンド配信

本講座は、ハラスメント防止教育や事案解決の支援ができる人材の養成を目的に毎年実施しています。今年度は、首都圏・近畿圏を中心に新型コロナウイルス感染が拡大している状況を鑑み、講義を録画し、一定期間オンデマンド配信する形式といたしました。



カリキュラム

「ハラスメントの基礎知識」

講師：伊岐典子 (21世紀職業財団 会長)

ハラスメントの基礎、ハラスメントが起きる背景などについて

「カウンセリングとメンタルヘルス」

講師：八木亜紀子氏
(プリンシプルコンサルティング職場の心理学研究所 所長、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター 特任准教授、21世紀職業財団 スーパーバイザー)

カウンセリングの基本、相談担当者の役割と心得、ケース対応、行為者ヒアリングの方法、ハラスメントとメンタル不調、職場のメンタルヘルスなどについて

「ハラスメントに関する労働法」

講師：原 昌登氏 (成蹊大学法学部 教授)
男女雇用機会均等法、育児・介護休業法、労働施策総合推進法、労働安全衛生法、労働契約法等のハラスメントに関する部分について

「裁判例解説とハラスメント事案解決法」

講師：新村響子氏 (旬報法律事務所 弁護士)
ハラスメント関連の裁判例及び具体的なハラスメント事案解決法について

初のWEBでの開催となりましたが、4名の講師陣を迎えて、毎年実施の会場講座と同程度のボリュームで実施。また、講義内容についての不明な点は、質疑応答期間を設けて全受講者に共有するなど、会場と同程度に学ぶことのできる体制を整えました。受講者からは「配信期間中、自分の事情に合わせて何度でも視聴できる」、「遠方でも受講しやすい」等の声をいただき、WEBで受講するメリットを感じていただいたようです。

受講者の声

- ★当初は養成講座を受講せずとも資料を読めばよいのではないかと考えていましたが、講師の先生方の話に引き込まれ、ポイントの理解が深まりました。
- ★オンデマンド受講なので、聞き逃したところは遡って確認することも可能でしたし、大変有意義でした。全ての講義に集中することができました。
- ★オンデマンドのメリットは大変理解できるものの、会場で緊張感を持って集中的にやることも効率的であると感じました。
- ★会場でロールプレイング等の演習ができなかったことは、残念に思いました。
- ★講義はボリュームがありましたが、先生方の説明がとても分かりやすく知識の少ない私には大変参考になりました。

<現役コンサルタントの専門性強化>

ハラスメント防止コンサルタント対象

労働法基礎講座 オンライン実施報告

第1回:11月19日(木)、第2回:11月30日(月)、第3回:12月7日(月)
ライブ配信

当財団では、ハラスメントに関する知識を問う認定試験に合格された方を「ハラスメント防止コンサルタント」として認定・登録しています。

本年6月から、パワハラ防止法施行等により職場におけるハラスメント防止対策が強化されました。そこで、最新の知識を身につける機会として、コンサルタント認定者のうち希望者を対象に労働法基礎講座を実施し、40名を超える方にご参加いただきました。

東京大学社会科学研究所教授の水町勇一郎氏を講師にお招きして全3回のライブ配信で行われ、ハラスメントに関連する労働法の基礎知識および改正法令について詳しく解説いただきました。

カリキュラム

- 第1回 労働法の枠組み、体系
<トピック> 正規・非正規格差最高裁5判決
- 第2回 ハラスメントと労働法(ハラスメント関係3法)
<トピック> フリーランスをめぐる世界的な課題
- 第3回 ハラスメントと労働災害、労働安全衛生
<トピック> 副業・兼業 & 働き方改革



来年度のハラスメント防止コンサルタント養成講座・認定試験につきましては、
詳細が決まり次第、当財団のホームページ等でご案内いたします。

<https://www.jiwe.or.jp>

編集後記

想像していた2020年とは全く違う年が過ぎようとしています。厳しい1年でしたが、今年感動したのは、メルケル首相のコロナ対策のテレビ演説と、アメリカ大統領選挙でのカマラ・ハリス氏の勝利演説です。どちらも心の底から絞り出された言葉に思えました。

いまアメリカでは「国を変えることは女性にしかできない」というムーブメントが起きているとポストの知り合いに聞きました。日本ではどうでしょう。品格と良識を持った女性リーダーの登場か、あるいは私たちが触媒となってさらなる化学反応を起こすのか、ゆったり構えている場合ではないと思う年の瀬です。⑦

ダイバーシティ 21

DIVERSITY 21 vol.043

2020年12月25日発行

編集・発行

公益財団法人 21世紀職業財団
〒113-0033

東京都文京区本郷 1-33-13 春日町ビル3階
TEL 03-5844-1660(代) FAX 03-5844-1670

<https://www.jiwe.or.jp>